

# 秋

vol.93

2025.11

# ときめき Beating 鹿島

ポラリス(北極星)を目指すには  
北極星を見分けること。  
目指すところ(方向)は一緒でも  
やり方はそれぞれ多種多様。  
一人一人の思いをエッセイの形で  
伝えたい。

## My Polaris 丸川忠憲医師の ポイント

診療部 医師 丸川 忠憲

本年8月から常勤医として赴任しました。

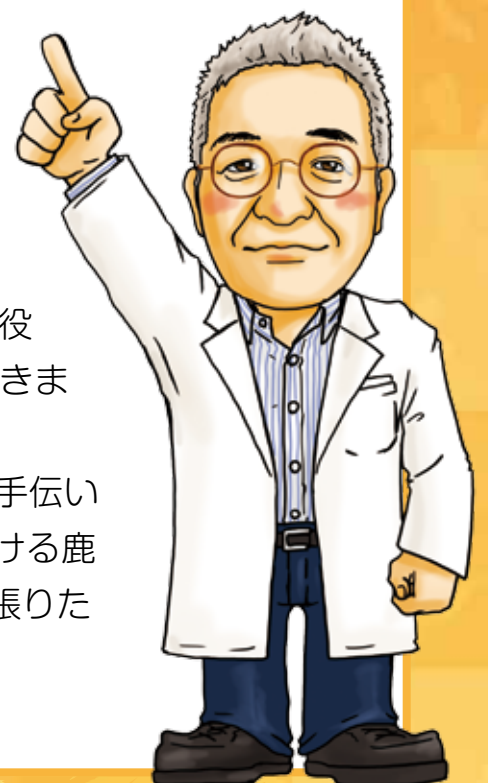
愛媛県生まれの私が、島根県大田市育ちの妻と、岡山市で出会って45年。岡山広島、姫路に奈良、そして京都に27年住んで此度、松江市で暮らす縁を、鹿島病院に頂きました。450Km離れた京都から、独居の母親に60kmまで近づいて、丁度良い距離に妻が安堵しました。妻の平穏が私の安寧、喉の小骨がやっと取れた思いです。

医業に就いて40年。豊富な経験といえは聞こえは良いものの、何分古い水夫ゆえ、新しい海へ、不安の大きな出航です。回復期リハビリテーションや地域包括ケアなどの不勉強に加え、松江市の風土や文化、つまりは人の価値観などに未だ戸惑いながら、各部署の先輩方に指導を乞う日々を送っています。

私は元来の粗忽者で、時に、無礼な物言いや振る舞いだと、皆様を感じるでしょう。話せば分かる人間なので、温かい目で見ていただくことを、切にお願いします。

急性期医療15年を経て慢性期病院に勤め、超高齢化社会において、回復期或いは慢性期の医療の役割や包括的地域医療体制の重要性を、真に感じてきました。

家に帰る、健やかに暮らす。患者さんの願いの手伝い出来るよう、そして地域医療ネットワークにおける鹿島病院の役割の助けになれるよう、微力ながら頑張りたいと思います。宜しくお願いします。



9月1日  
から



## 電子カルテが 新しくなりました。

看護部長 川谷 清美

既存の電子カルテのサービスが終了することを受け、電子カルテ数社のプレゼンテーションから、ソフトマックス社に決定しました。今年に入り、既存の電子カルテ内の記録類すべて（帳票類など）を洗い出し、記録類の内容の見直しや、選定などを行いました。この作業にかなりの時間を費やしました。それを新しい電子カルテの様式に入れてもらい、帳票類や各部門の記録類の細かな訂正を繰り返しました。

それと並行し、新しい電子カルテの操作説明。個人的には理解のなさを痛感した次第です。担当の方には何度となく説明していただきました。

最終段階では、新規の電子カルテで、入院受け入れや外来受診を想定し、多職種で実施しました。写真がその様子です。

9月1日から導入となりました。最初は操作に手間取ることもありましたが、大きなトラブルなく運用できています。便利な機能もあるようなので、色々活用できると思います。さすがに若い職員（何歳を若いと定義するのでしょうか？）は操作の習得が早いです。これを機会にカルテ記録の効率化につながることを期待しています。



# 研修医地域医療研修を終えて

松江赤十字病院 研修医 清水 一貴

地域医療研修として鹿島病院で1ヶ月間研修させていただきました。特に印象に残ったのは、初めて訪問診療・看護に同行させていただき、ひとりひとり異なる環境や背景の中で自宅で生活される患者さんを支える医療と看護の重要性を学び、病院とは異なる生活の場に寄り添い、医療行為だけでなく患者さんの生活や家族の思いを理解しようとする姿勢の大切さを実感しました。また入院前の判定会、様々なカンファレンスでは、急性期から回復期、慢性期へと円滑に移行するために多職種が協力し合う調整の重要性を体験し、特に回復期・慢性期病院は、患者さんの社会復帰や生活の質を維持するために欠かせない存在であることを再確認できました。今回の研修を通じて、地域全体で患者さんを支える医療の在り方を改めて見つめ直すきっかけとなりました。温かくご指導くださった先生方やスタッフの皆様深く感謝申し上げます。



また当院では初めて、注射薬の3点認証が導入されました（点滴・患者・実施者3つの確認をそれぞれバーコードを読み取る器械で自動判別）。3点認証と、確認行動の継続で薬剤の安全な実施に繋がると考えます。



新しい電子カルテの導入で、記録や業務の効率化が図られ、ベッドサイドに行ける時間が増えることを願っています。



## 鹿島病院に求められる地域連携（協力医療機関として）

医療相談部 社会福祉士 安達 亜希子・佐々木 なつき

近年、医療と介護の連携がますます重要視されています。

令和6年の介護報酬改定にて、医療と介護の連携を推進することを目的に、介護保険施設等（特別養護老人ホームや介護老人保健施設等）に協力医療機関を設置することが制度化されました。協力医療機関とは、介護施設等が入所者の病状急変や診療が必要な際に迅速かつ適切な医療を提供できるよう、平時からあらかじめ連携体制を整えている医療機関のことを指します。鹿島病院のような在宅療養支援病院及び地域包括ケア病床を有する病院は、介護保険施設等の求めに応じて協力医療機関を担うことが望ましいとされています。診療報酬においても、協力医療機関の契約を結んだ施設への医療提供や入院の必要性を判断し受け入れた場合等に算定できる「介護保険施設等連携往診加算」「協力対象施設入所者入院加算」が新設されました。

当院では、現在松江市内5か所の施設（いずれも特別養護老人ホーム）と協力医療機関の契約を結び、相互に連携を深めるため毎月オンラインによるカンファレンスを実施しています。このカンファレンスでは、各施設の空き状況や入院治療が必要になりそうな方の情報などを共有したり、施設へ紹介したい患者の状況や、必要な処置が施設で対応可能か確認をしたりしています。毎月の情報交換により、顔の見える関係づくりが進み、迅速かつ柔軟な対応が可能になっているように思います。また、協力医療機関と施設の間では研修を行っています。今年度は当院の言語聴覚士と看護師による研修が施設で行われました。研修を行うことで医療従事者と施設職員の交流が図れ、お互いの現状や知識を学ぶ良い機会になっていると思います。

一方で、連携施設が増えると、おのずとカンファレンスの回数も増え、日々の業務に併せて毎月のカンファレンス時間を確保することは容易ではありません。今後さらに、連携施設が増えてくれば、他系列施設とも同時でカンファレンスを開催する等、検討が必要になりそうです。スムーズな連携のため工夫を重ね、今後も協力医療機関として地域の介護施設等との連携を強化し、地域の皆さまに安心して医療を受けていただける体制づくりに努めてまいります。

# 鹿島病院地域交流会を開催して

医療相談部 社会福祉士 金田 直樹

2025年10月2日にくにびきメッセにて、当院が日頃から連携をとっている松江赤十字病院、橋北地区にある居宅介護支援事業所や施設との交流会を実施しました。参加者は102名で予想していたより多くの方に参加してもらい、大変感謝しています。

交流会の内容としては、昨年度に当院へのイメージや要望などのアンケートを取らせてもらったのですが、その結果をお伝えすると同時に、当院の紹介や緊急入院・早期入院患者の取り組みを説明しました。

その後はグループワークで当院に対しての要望や意見などを話し合ってもらう機会を設けました。あらかじめ設定していたファシリテーターを中心に30分話し合ってもらいましたが、大盛況であつという間に時間が経ってしまいました。意見としては退院前に自宅への外出をしてくれることで自宅環境の相談がしやすい、退院前カンファレンス時等情報提供がしっかりしていて助かるなどの意見もあれば、通所リハビリや訪問診療の範囲を拡げて欲しい、外来で嚥下評価をしてほしいなどの課題となる意見もありました。

その他にもいろいろ意見をいただき全ての要望にお応えできるかわかりませんが、少しでも地域のために対応ができたらと考えています。そのために連携の力が大事だと改めて認識できる良い機会だったと思います。

コロナ禍のために6年ぶりの交流会でしたが、今後も定期的に行なうことができたらと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



# 令和7年度 中学生1日看護体験が おこなわれました

参加者 中学生4名

令和7年

7月  
30日 水



人工呼吸器の体験



体験を振り返っての感想を  
一部まとめています。



## 参加者学生の感想

- ・ 鹿島病院がどんな病院か知ることができた。
- ・ 手洗いの方法を教えてもらい、普段の手洗いが適当であったかよくわかり、しっかり洗いたい。
- ・ 手洗いの重要性が分かった。
- ・ 患者さんとのコミュニケーションをとることができ、コミュニケーションの大切さがわかった。
- ・ 脈拍や血圧測定を体験し方法を学ぶことができた。
- ・ 人工呼吸器（非侵襲的）の装着や車椅子の体験は楽しかった。
- ・ 昼食が美味しかった（昼食は病院食を提供しました）。
- ・ 看護師・理学療法士がどんなことをしているか知ることができ、やりがいなども教えてもらい勉強になった。
- ・ 良い体験ができた。
- ・ いつか医療関係の仕事に就いて、夢をかなえたい。



本日の給食



車椅子体験

# 喜井 認知症看護認定看護師の認知症あれこれ

## 今回はネタ切れです・・

認知症看護認定看護師 喜井 亜祐子



ときめき鹿島 の原稿締め切りが迫っている中で、この文章を書いています。認知症看護認定看護師として毎号記事を書かせていただくようになって約4年になります。不定期で書いていた時期を含めると、約7年になります。今回の原稿依頼を受け、ときめき鹿島を読んでくださっている皆さんはどのような内容が読みたいのだろう・・と考えていました。これまでに読んだ書籍の紹介や自分の体験談などをお伝えしてきましたが、認知症に関することで知りたいことや取り上げてほしい内容はありますか？皆さんのご意見募集します。テーマ・ネタ提供よろしくお願いします！

ときめき鹿島で私の家族のことを何度かお伝えしました。ここまで赤裸々に話して良いのかな・・と考えたこともあります。先日私の家族の記事を読んだ方から「涙が出そうでした」と感想をもらいました。他にも「共感します」など、様々な意見をいただいています。私は研修を受講してくださる方に、いつも認知症ケアには時間がかかるので焦らずに、とお伝えしています。ですが、私自身が結果を求めて焦ってしまうこともあります。患者様には優しい気持ちで話すことができるのに、対家族となると焦って口調が強くなって優しい気持ちを忘れてしまうことがあります。ときめき鹿島の原稿を書きながら、自分の家族へのケアを振り返って反省することが多いですが、それを読んで共感して下さったり、誰かのお役に立てていることはとても励みになっています。引き続き、記事の感想なども聞かせていただけると嬉しいです。

最後に、先日出前講座で介護老人福祉施設に行き、認知症ケアについて研修をさせていただきました。久しぶりのオフラインでの研修で緊張しましたが、直接意見を聞かせていただくことができ、私自身とても勉強になりました。当院の認知症ケア研修は新型コロナウイルス感染症が流行し始めてから、ずっと集合研修を行うことができていません。直接皆さんの意見を聞いたり、認知症について様々な話ができる機会を持つことができれば良いなと思っています。コンサルテーションの依頼があった時や、活動日には各病棟にうかがうことがあると思います。お困りのことがあれば、気軽に声をかけてもらえたらと思います。

今さらですが、自己紹介してみます。

趣味・特技 認知症と美容

好きなこと 香水・ボディクリーム・柔軟剤を集めて、色々試すこと

嫌いなこと 運動、筋トレ、ストレッチ



# クリニカル・インディケーター

(R7年1月～R7年6月)

## I 病院全体

[ 病床利用率(%) =  $\frac{24\text{時現在の患者数}}{\text{病床数}} \times 100$  ]

### 1 病床利用率

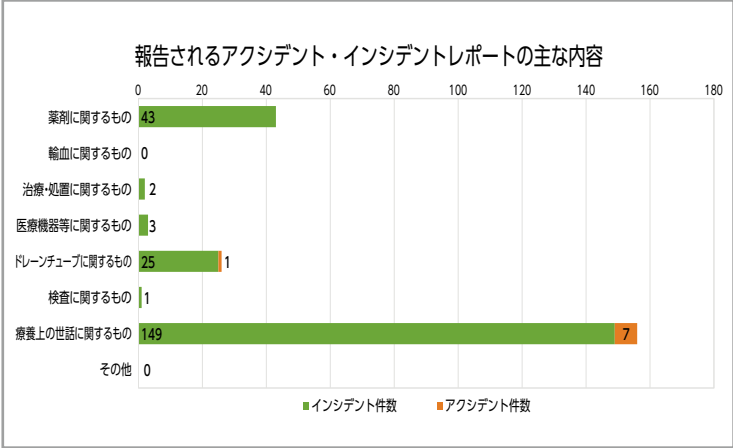
|          | 1月    | 2月    | 3月    | 4月    | 5月    | 6月    | 平均    |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 特殊疾患病棟   | 92.6% | 90.8% | 90.5% | 88.2% | 91.3% | 94.7% | 91.3% |
| 回復期リハ病棟  | 89.1% | 80.2% | 84.4% | 86.3% | 86.3% | 82.6% | 84.8% |
| 療養病棟     | 91.4% | 85.5% | 83.1% | 93.3% | 91.0% | 94.8% | 89.8% |
| 地域包括ケア病棟 | 81.7% | 87.4% | 88.0% | 91.0% | 86.9% | 88.4% | 87.2% |

### 2 平均在院日数

|          | 1月    | 2月    | 3月   | 4月   | 5月   | 6月   |
|----------|-------|-------|------|------|------|------|
| 特殊疾患病棟   | 1146日 | 1122日 | 831日 | 647日 | 621日 | 768日 |
| 回復期リハ病棟  | 74日   | 72日   | 72日  | 63日  | 66日  | 63日  |
| 療養病棟     | 169日  | 180日  | 170日 | 122日 | 135日 | 140日 |
| 地域包括ケア病棟 | 56日   | 49日   | 36日  | 39日  | 40日  | 41日  |

### 3 医療安全管理 報告されるアクシデント・インシデントレポートの主な内容

|                | アクシデント件数<br>(件/年) | 総数に<br>占める割合 | インシデント件数<br>(件/年) | 総数に<br>占める割合 |
|----------------|-------------------|--------------|-------------------|--------------|
| 薬剤に関するもの       | 0件                | 0.0%         | 43件               | 19.3%        |
| 輸血に関するもの       | 0件                | 0.0%         | 0件                | 0.0%         |
| 治療・処置に関するもの    | 0件                | 0.0%         | 2件                | 0.9%         |
| 医療機器等に関するもの    | 0件                | 0.0%         | 3件                | 1.3%         |
| ドレーンチューブに関するもの | 1件                | 12.5%        | 25件               | 11.2%        |
| 検査に関するもの       | 0件                | 0.0%         | 1件                | 0.4%         |
| 療養上の世話に関するもの   | 7件                | 87.5%        | 149件              | 66.8%        |
| その他            | 0件                | 0.0%         | 0件                | 0.0%         |
| 計              | 8件                | 100.0%       | 223件              | 100.0%       |



## II 病棟機能

### 1 回復期リハビリテーション病棟

#### 【疾患別平均入院日数】

| 疾患別            | 疾患別<br>延入院日数 | 疾患別<br>患者数 | 疾患別<br>平均入院日数 |
|----------------|--------------|------------|---------------|
| 骨折、損傷等         | 4,687日       | 72人        | 65.1日         |
| 脳血管疾患等         | 3,512日       | 40人        | 87.8日         |
| 脊椎、脊髄の疾患       | 149日         | 5人         | 29.8日         |
| 股関節または膝関節の置換術後 | 73日          | 1人         | 73.0日         |
| 廃用症候群          | 762日         | 12人        | 63.5日         |
| 義肢装具訓練を要する状態   | 0日           | 0人         | 0.0日          |
| 総 計            | 9,183日       | 130人       | 70.6日         |

#### 【FIM運動改善状況】

※回復期リハ実績指数対象者

|             | 実施前(平均) | 退院(棟)時(平均) | 変化値(平均) |
|-------------|---------|------------|---------|
| 脳血管障害に関するもの | 46.4    | 71.9       | 25.5    |
| 廃用症候群に関するもの | 35.5    | 63.0       | 27.5    |
| 運動器疾患に関するもの | 32.9    | 64.1       | 31.2    |

#### 【FIM認知改善状況】

※回復期リハ実績指数対象者

|             | 実施前(平均) | 退院(棟)時(平均) | 変化値(平均) |
|-------------|---------|------------|---------|
| 脳血管障害に関するもの | 24.1    | 27.5       | 3.3     |
| 廃用症候群に関するもの | 23.2    | 25.3       | 2.2     |
| 運動器疾患に関するもの | 23.8    | 25.9       | 2.1     |

### 2 療養病棟

#### 【在宅復帰率】

※療養病棟の在宅復帰率に基づいて算出

|                                   |       |
|-----------------------------------|-------|
| 療養病棟の在宅復帰率                        | 80.6% |
| 分子：療養病棟から在宅<br>(自宅・居住系施設)へ退院した患者数 | 75人   |
| 分母：療養病用を退院した患者数                   | 93人   |

### 3 地域包括ケア病棟

#### 【疾患別平均入院日数】

| 主な疾患別     | 疾患別延入院日数 | 疾患別患者数 | 疾患別平均入院日数 |
|-----------|----------|--------|-----------|
| 骨折、損傷等    | 635日     | 13人    | 48.8日     |
| 廃用症候群等    | 1,637日   | 37人    | 44.2日     |
| 脳血管疾患、心疾患 | 623日     | 18人    | 34.6日     |
| 肺炎等       | 557日     | 17人    | 32.8日     |
| がん        | 484日     | 16人    | 30.3日     |
| 脱水症等      | 488日     | 15人    | 32.5日     |
| 感染症等      | 110日     | 3人     | 36.7日     |
| 尿路感染症等    | 162日     | 4人     | 40.5日     |
| 神経疾患      | 96日      | 2人     | 48.0日     |
| 消化器疾患     | 163日     | 3人     | 54.3日     |
| 褥瘡        | 257日     | 4人     | 64.3日     |
| 総 計       | 5,212日   | 132人   | 39.5日     |

#### 【在宅復帰率】

※回復期リハ病棟の在宅復帰率に基づいて算出

|                                      |       |
|--------------------------------------|-------|
| 在宅復帰率                                | 85.0% |
| 分子：回復期リハ病棟から在宅<br>(自宅・居住系施設)へ退院した患者数 | 91人   |
| 分母：回復期リハ病棟から退院した患者数                  | 107人  |

#### 【在宅復帰率】

※地域包括ケア病棟の在宅復帰率に基づいて算出

|                                       |       |
|---------------------------------------|-------|
| 在宅復帰率                                 | 82.2% |
| 分子：地域包括ケア病棟から在宅<br>(自宅・居住系施設)へ退院した患者数 | 74人   |
| 分母：地域包括ケア病棟から退院した患者数                  | 90人   |



## NEWS

## 新入職員を紹介します

50音順

- ①部署・職種 ②趣味・特技は何ですか？  
③好きなもの・好きなことを教えてください。  
④一言ご挨拶をお願いします。

## 重田 瑞希

- ①医療相談部・社会福祉士  
②スノーボード  
③楽しいこと・球技・  
SUPER BEAVER  
④はやく一人前になれるよう  
に頑張ります。よろしく  
お願いいたします。

## 野津 貴江

- ①3階病棟・介護福祉士  
②趣味：映画鑑賞  
特技：水泳  
③動物と触れ合うこと  
④退職した後に、健康であること  
が、いかに大切に改めて解りました。  
介護の仕事は患者さんの  
健康な生活を支援する仕事  
なので、日々懸命に励  
みたいです。

## 丸川 忠憲

- ①診療部・医師  
②映画鑑賞・スポーツ観戦  
③阪神タイガース  
文章を書くこと  
④山陰に初めて暮らします。松江  
の気候、風土、文化と人々の気  
質に馴染むよう、ぼちぼち  
頑張ります。長い目で見て  
下さい。

## 公に会事業報告 (R7年7月～R7年9月)

※退院日は除く

延べ入院患者数=24時現在入院 延べ外来患者数=外来実日数

## 鹿島病院 ①外来

| (診療日数63日) | 1日平均患者数      |
|-----------|--------------|
| 延べ外来患者数   | 776人 12.3人/日 |

## ②病棟 2F特殊疾患病棟

| (診療日数92日)           | 1日平均患者数        |
|---------------------|----------------|
| 延べ入院患者数             | 5,163人 56.1人/日 |
| レスピレーター装着延べ患者数      | 1,289人 14.0人/日 |
| 特殊疾患<br>対象延べ<br>患者数 |                |
| ①脊髄損傷等の重度障害         | 552人 6.0人/日    |
| ②重度意識障害             | 1,839人 19.9人/日 |
| ③神経難病               | 2,058人 22.3人/日 |
| ④筋ジストロフィー           | 0人 0.0人/日      |

|                                     |       |
|-------------------------------------|-------|
| 3か月間の特殊疾患対象患者割合                     | 86.4% |
| 3か月間の特殊疾患対象患者割合=1日平均対象患者数÷1日平均入院患者数 |       |

## 3F回復期リハ病棟

| (診療日数92日)     | 1日平均患者数        |
|---------------|----------------|
| 延べ入院患者数       | 4,689人 50.9人/日 |
| 回復期リハ病棟対象患者割合 | 98.2%          |
| 平均リハ提供単位数     | 5.6            |

## 患者重症度指数 強化項目 リハビリ数

|                     |        |            |
|---------------------|--------|------------|
| 直近6か月間の新規入院患者       | 重症者の割合 | 121人 48.7% |
| 直近6か月間の在宅に退院した患者の割合 |        | 84.1%      |
| 直近6か月間の重症改善率        |        | 55.5%      |
| 直近6か月間のアウトカム実績指数    |        | 50.6点      |

## 4F療養病棟

| (診療日数92日)                    | 1日平均患者数        |
|------------------------------|----------------|
| 延べ入院患者数                      | 2,093人 22.7人/日 |
| 直近3か月間の医療区分2・3の患者割合          | 90.9%          |
| 直近3か月間の医療区分2・3の患者割合=レセプト実績日数 |                |
| 直近6か月間の在宅に退院した患者の割合(4F全体)    | 83.9%          |

## 4F地域包括ケア病棟

| (診療日数92日)              | 1日平均患者数        |
|------------------------|----------------|
| 延べ入院患者数                | 2,306人 25.0人/日 |
| A・C項目患者の割合             | 17.6%          |
| 平均リハ提供単位数              | 2.6            |
| 直近3か月間の自宅等から入院した患者の割合  | 32.7%          |
| 直近3か月間の自宅等からの緊急入院受け入れ数 | 20人            |
| 直近6か月間の在宅に退院した患者の割合    | 80.8%          |

## 在宅サービス部

## ①通所リハビリ“やまゆり”

| (稼働日数79日)   | 1日平均利用者数         |
|-------------|------------------|
| 通所リハビリ延利用者数 | 2,773人 35.1人/日   |
| 短期集中リハビリ実施数 | 1,234単位 15.6単位/日 |

## ②訪問リハビリ“つばさ”

| (稼働日数60日)    | 1日平均利用者数    |
|--------------|-------------|
| 訪問リハビリ延べ利用者数 | 16人 0.3人/日  |
| 訪問リハビリ延べ単位数  | 32単位 .5単位/日 |

## ③訪問看護“いっくしみ”

| (稼働日数60日)       | 1日平均利用者数     |
|-----------------|--------------|
| 訪問看護延利用者数(医療)   | 120人 2.0人/日  |
| 訪問看護延利用者数(介護)   | 598人 10.0人/日 |
| 訪問看護延利用者数(リハビリ) | 234人 3.9人/日  |

## ④鹿島病院やまゆり居宅介護支援事業所

| (稼働日数60日)    | 月平均策定数       |
|--------------|--------------|
| 延べケアプラン策定数   | 292人 97.3人/月 |
| 延べ介護予防ケアプラン数 | 181人 60.3人/月 |

## Ⅲ 在宅機能

## 1 通所リハビリテーション

【当院退院患者の通所リハビリ利用後のFIM改善状況】

|            | 脳血管障害に関するもの | 廃用症候群に関するもの | 運動器疾患に関するもの | 呼吸器疾患に関するもの | 全体   |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------|
| 退院時(n)     | 9           | 1           | 6           | -           | 16   |
| 退院時(平均)    | 89.4        | 110.0       | 101.3       | -           | 95.2 |
| 2週間(n)     | 6           | 1           | 2           | -           | 9    |
| 2週間(平均)    | 80.2        | 114         | 103         | -           | 89   |
| 2週間変化値(平均) | -2.7        | 4           | 7           | -           | 0.2  |
| 3か月(n)     | 5           | -           | 1           | -           | 6    |
| 3か月(平均)    | 91.4        | -           | 113         | -           | 95   |
| 3か月変化値(平均) | 4.2         | -           | 10.00       | -           | 5.2  |

【在宅からの紹介による入院件数】

|      | 在宅からの<br>入院 | 当院外来<br>(再掲) | 病院・老健<br>からの入院 | 在宅からの<br>入院割合<br>(%) |
|------|-------------|--------------|----------------|----------------------|
| 2F病棟 | 1件          | 1件           | 5件             | 16.6%                |
| 3F回復 | 12件         | 0件           | 121件           | 9.0%                 |
| 4F病棟 | 9件          | 3件           | 4件             | 69.2%                |
| 4F地域 | 40件         | 14件          | 92件            | 30.3%                |
| 計    | 62件         | 18件          | 222件           | 21.8%                |





# 医療法人財団公仁会中期ビジョン2025

医療・介護が一体となり、リハビリテーションを柱としたサービスを展開し、急性期病院をはじめとする医療機関・介護事業所・行政機関との連携を軸に、橋北地区の地域包括システムを支える。

## <ビジョン策定の主旨>

橋北地域における地域包括ケアシステムの中核病院として、入院・外来医療と介護サービスの質の向上と継続的提供のため中期ビジョンを策定する。

## <本計画の期間>

この計画は2025年4月から2028年3月までの3年間で期間とする。

## 1. 良質な回復期・慢性期医療

### (1)回復期医療

回復期リハビリ病棟と地域包括ケア病床でのリハビリテーションの更なる充実と外来リハビリ、通所リハビリ、訪問リハビリの密な連携により地域の回復期医療を担っていく。

### (2)慢性期医療

特殊疾患病棟・医療療養病棟で長期入院を要する患者に対し、地域包括ケア病床で高齢患者に準急性期医療を提供することで地域の慢性期医療を担う。

### (3)質の高いリハビリテーション

リハビリ療法士の数的充足のみでなく個々の療法士の質的向上を図り、医療機関との連携を図る。

### (4)外来・訪問診療

訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、通所リハビリとの連携で外来診療・訪問診療を効果的に運営する。

## 2. 在宅生活を支える医療・介護

### (1)良質な在宅医療

患者にとって「安心を支える在宅医療」を促進するため、外来・訪問診療と訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所との連携を一層進める。

### (2)良質な在宅支援サービス

在宅サービス部門が一体となり、利用者目線での質の高いサービスの提供を目指す。

## 3. 地域連携・地域貢献

### (1)病病連携、病診連携、地域連携（県・市・保険・福祉・介護・地区）

松江圏域の医療連携協定や介護保険施設との連携、その他の多方面との連携により、安心で安全な地域完結型医療の実現を目指す。

### (2)予防医療や介護技術を地域へ普及

地域住民への啓発活動や医療・介護関連職種向けの勉強会を通じて、地域に積極的に知識を還元する。

### (3)地域への情報発信

病院の機能や在宅サービス機能、治療成績、行事等

についてホームページや広報誌等を活用して、積極的に情報発信を行い、公仁会のブランド力を高める。

## 4. 医療安全・院内感染対策

### (1)医療安全

医療・介護サービスを提供する全ての方へ医療安全を担保することは前提条件であり、日常から緊張感をもって業務改善に努める。

### (2)院内感染対策

院内感染防止対策委員会の活動充実に加え、感染管理認定看護師を配置することにより、感染防止と予防教育のレベルアップを図る。

## 5. 医療サービスの質の改善

### (1)委員会活動の活性化

委員会活動をはじめとする院内の横断的組織活動を活性化させ、より深化した改善活動を実践する。

### (2)臨床指標（Clinical Indicator）の活用

当院のアウトカムである在宅患者受入率や在宅復帰率、リハ効率、医療区分割合、医療看護必要度、訪問看護必要度、訪問診療回数などを院外に積極的に発信していく。

### (3)患者満足度向上の組織的取組み

苦情・要望に対する真摯な対応によりサービスの改善を図り、組織の成長につながる対策を講じていく。

### (4)施設・設備・環境の整備と充実

患者のQOLに資すること、並びに職員の働きやすい環境の整備を計画的に進める。

## 6. 人材の育成と確保

### (1)人材の育成

院内研究の活性化や積極的に外部研修派遣を行い、次代を担う人材の育成を図る。

### (2)人材の確保

外国人労働者の採用等、採用の多様化を進めることで病院の安定運営に必要な人材を確保する。

### (3)働きやすい環境の整備

従業員エンゲージメントの向上につながる働きやすい職場・働き甲斐のある職場を目指す。

### (4)学生の受入れ

学生実習の積極的受入れを行い職員のレベルアップを促すとともに、採用機会を増やす取組みを行う。

## 7. 医療DXの推進とスキルアップ

電子カルテの更新を円滑に行うとともに、業務の省力化と職員のスキルアップを進めることで生産性の向上を図っていく。

## 編集後記

今年は秋晴れの日が少なく雨の日が続いています。当院では8月22日と29日の全体のリハールを経て、9月1日より新電子カルテが稼動しております。全職員が一人一人の役割を認識し、一つの方向を目指した取組でした。

ときめき鹿島は秋号で今年最後となります。今年も広報委員会にご協力いただきありがとうございました。

広報委員会 一同



■編集・発行・責任者：広報委員会委員長

医療法人財団公仁会 〒690-0803 島根県松江市鹿島町名分243-1  
e-mail ksm@kashima-hosp.or.jp http://www.kashima-hosp.or.jp/

鹿島病院 TEL(0852)82-2627(代) FAX(0852)82-9221

訪問看護ステーション(いつくしみ) TEL(0852)82-2640

やまゆり居宅介護支援事業所 TEL(0852)82-2645

通所リハビリテーション(やまゆり) TEL(0852)82-2637

訪問リハビリテーション(つばさ) TEL(0852)82-2637

■印刷元 柏村印刷株式会社